

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカチホダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) コバヤシゼミナール
高千穂大学	経営学部	小林ゼミナール

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) エーチーム	フリガナ) ツツイ マサル	6	無	
A チーム	筒井 将治			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

なし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

ブラックバイトについて

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

学生にとって身近な関係にあるアルバイトだが、このアルバイトが原因で学生の本文である「勉強」に支障を来たしてしまい、単位が取れない、留年といったケースがある。この学生生活とアルバイトにおける関係性に着目し、どうすれば現在の経済状況でも豊かな学生生活を送ることができるのかを提案する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現状として、約 2 割の学生がアルバイトによって学業に支障が出ている状況である。この状況となっている背景としては、1 つが企業側がアルバイトに対して不当な扱いをしていることによるものであり、もう 1 つが、学生がそのような不当な扱いを受け入れている状況を認知しながらも自分たちの事情を優先していることによるものである。

この 2 つの要因が結果的に学生生活に支障をきたしてしまっている。

3. 研究テーマの課題

企業がアルバイトに対して不当な扱いをしているケースが全てであれば、それに対する対策を考えるのだが、学生が事情を優先してしまい自らが悪循環を作り出してしまっていることが課題である。つまり、企業だけではなく学生に対してのアプローチも必要であると考え。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

課題は、企業だけではなく学生自身も悪循環を作ってしまったことである。「ここでお金が稼ぎたい＝長時間働く」ではなく「お金を稼ぎたい＝空いた時間で効率よく稼ぐ」という視点からのビジネスモデルを提案する。

単位が取れている人も取れていない人も共通しているのがその友人達も似たような状況にあるということ、単位が取れている人は周りにも取れている人が多く、取れてない人の周りには取れてない友人が多いのではないかと考え、単位取得には「情報網があるかどうか」がポイントではないかと考えた。

そこでまず私たちは、情報網を作るために information サークル（情報交換サークル）を作成することにし、交友関係を広げ情報網を増やすことを目的に提案し考案した。

また、企業と学生を結びつける手助けをすることも必要だと考え、マッチングアプリを作成し、企業と学生を簡単につながれるシステムも考案した。このシステムは、アルバイト先に所属している学生の友人を欠員が出た際に紹介することで補うというシステムである。マッチングアプリに企業、アルバイト先の学生、その学生の友人が登録し、アルバイトの学生が休みたい、または欠員が出た場合、アプリ側にあるバイトの学生が報告、またアルバイトの学生の友人は自分が空いている時間を登録させる。このことで欠員が出た際、マッチングアプリがマッチング作業を行い、マッチングを実現させたら、アルバイトに所属している学生の友人が企業に直接連絡してバイトをしてもらう形になっている。

メリットとしてはアプリ側が、登録の際の月額収入、企業側が欠員の解消、アルバイトの学生は空き時間に働き、稼げる、アルバイトは急な用事の際に休めてさらに自分の時間が空いた時は友達のバイト先にヘルプで入れるというメリットがある。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

チーム内のバイト先に自分たちの考えた提案が実際にあれば取り入れてみたいかを調査する。またインフォメーションサークルの方も他の学生にこのようなサークルがあったら入りたいかどうかを聞き、どちらもフィードバックを頂く。

6. 結果や今後の取り組み

場所、時間を問わず空いている時間を活用して働くことで学業に出る支障を減らすことを目的とする。また今後の取り組みとして、作成したアプリやサークルを関連させたものの実用化を目指していき、全国規模での使用を目指していく。

7. 参考文献

<https://www.univcoop.or.jp/press/life/report51.html>

第 51 回学生生活実態調査 4P

<http://blackarbeit-union.com/aboutUs/aboutBlackarbeit/index.html>

ブラックバイトユニオン 9P

https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/library/okinawa-roudoukyoku/koyoukankyoku_kintou/H28/H280929_gak_useiarubaito/280929_gakusei_toukei.pdf

厚生労働省 アルバイトで受けた不当な扱い 11P

今野晴貴「ブラックバイト学生が危ない」岩波新書 2016 年

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナル関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください